

2021年3月22日

臨床研究（学会発表・論文投稿）許可申請書

高岡整志会病院
倫理委員会委員長 殿

所 属 医局
職 名 院長
申請者 川岸 利光



下記について申請します。必要書類がある場合は同時に添えます。

1. 課題名

日本整形外科学会症例レジストリー（JOANR）構築に関する研究

2. 実施体制（所属名、分担者、院外実施者等）

高岡整志会病院 川岸利光

3. 実施内容（臨床研究の概要、対象及び実施場所含む）

（1）臨床研究の必要性及び研究背景の概要

大規模運動器疾患データベースを構築されることには以下のような意義がある。すなわち、1) 運動器疾患に対する手術治療に関するビッグデータに基づいたエビデンスの構築、2) 外科系学会社会保険委員会連合（外保連）試案の実態調査、製造販売後調査（PMS）、新規医療技術の評価、重点的に対応すべき運動器疾患と手術法の提言など、さまざまな政策対応が可能などである。また、本領域では人工関節、骨固定材料など種々の体内埋込型インプラントを用いた手術が多く、その実施状況とアウトカムに関する情報は、国民健康向上の観点に加え、医療経済上も極めて重要と考えられる。

（2）臨床研究の概要（研究対象、研究方法等）

運動器疾患に対して日本整形外科学会員が所属する施設で実施された手術（別紙1記載）を受けた症例の手術関連情報をインターネット上のレジストリシステムに登録する。

上記以外の手術は順次、関連学会・研究班等と協議の上、追加する。

（3）臨床研究の目的

1) 運動器疾患に対する手術治療に関するビッグデータに基づいた再手術率や合併症発生率などに関するエビデンスの構築、2) 専門医制度のための症例データベース、3) 外科系学会社会保険委員会連合（外保連）試案の実態調査、製造販売後調査（PMS）、新規医療技術の評価、重点的に対応すべき運動器疾患と手術法の提言など、さまざまな政策対応の施行

（4）研究の実施場所

高岡整志会病院

（5）臨床研究における医学倫理的配慮について

1) 臨床研究の安全性に対する配慮

本研究による研究参加者の直接的な危険と不利益はない。個人情報の保護には適切な方法を用いて十分留意する。

2) 被験者又はその家族等の人権の擁護

インフォームド・コンセントは文書同意、口頭同意および記録で取得し、それらが困難な場合はオプトアウトを行う。

4. 医学倫理的配慮

(1) 個人情報等の取り扱い

(2) 登録された研究対象者の個人情報は、データ登録機関の施設内ルールに従いカルテ番号等を匿名化した上でさらに加工を施した研究対象者 ID①と、当該機関の施設番号と登録連番で構成される匿名加工された研究対象者 ID②の両方で管理する。

(3) データ登録機関からデータセンターに登録するのは研究対象者 ID①②のうち、研究対象者 ID①およびこれ以外の個人を特定しうる情報はデータ登録機関からデータセンターに開示しない。なお、研究対象者 ID①の作成方法については、各データ登録機関内で厳重に管理し公表しない。また、データ登録機関では研究対象者 ID①②と研究対象者の対応表を作成し、データ登録機関の長の責任で厳重に管理し、データセンターにも公表しない。

(4) 4) 被験者に説明し同意を得る方法（同意説明書および同意書様式も添付）

(5) 研究について説明を行い、十分に考える時間を与え、研究対象者が内容をよく理解したことを確認した上で、データの登録について依頼する。データ登録機関では、研究対象者本人が参加に同意した場合、同意文書に研究対象者本人による署名を得るか、同意を得た旨を記録し保管する。なお、データセンターではデータ登録機関での同意取得状況等を確認する。

(6) 研究対象者からインフォームド・コンセントを受けない場合（「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」第12の1(3)ア(ウ)の規程による）は、研究の目的を含む研究の実施について情報を公開し、研究対象者又は代諾者等が参加を拒否できる機会を保障する。

日整会倫理委員会で承認の得られた情報公開資料を日本整形外科学会ホームページ

(<https://www.joa.or.jp>) ないし JOANR ホームページ (<https://www.joanr.org>) に掲載することにより情報公開を行う。なお、データ登録機関においても倫理委員会等で承認の得られた情報公開資料を当該機関ホームページ、または、研究対象者等が確認できる場所への書面（ポスターなど）で掲示する。

(7) 5) 研究期間及び研究期間終了後の個人データおよび試料等の保管又は廃棄の方法

(8) 登録されたデータはデータセンター（日本整形外科学会）の責任下に AWS クラウドサービスを使用したサーバで保存する。保存期間は本研究終了（あるいは中止）後 5 年間とする。

(9) 登録されたデータはデータセンター（日本整形外科学会）の責任下に、保存期間終了後 AWS クラウドサービスを使用したサーバからのデータ消去で行う。

(10) 当該研究によって生じた健康被害に対する補償の有無及びその内容
健康被害は生じない

(11) その他

研究実施の倫理的責任体制

症例レジストリー委員会および JOANR 運営ワーキンググループが倫理的問題の検討を定期的に行う。個人情報保護等の問題については、日本整形外科学会顧問弁護士、症例レジストリー委員

会のアドバイザーである宮田裕章慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教授に適宜助言を依頼する。

資料・データ等の保存・管理責任者はリーズンホワイ株式会社（塩飽哲生社長）が担当するが、日立製作所株式会社日立製作所ヘルスケアビジネスユニットとアドバイザー契約を結び、適宜助言を得る体制を整える。

私は、上記研究において、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守いたします。

署名 川岸利光

////////////////////////////////////
審議結果：承認の場合は押印又はサインを、否認の場合は「否」を書いて下さい。

院長	副院長	看護部長	副理事長	事務部長	事務次長
					

2021年3月26日

以上より、上記臨床研究の実施を承認・否認します。

倫理委員会委員長